令和８年度第１回三重県がん対策推進協議会　概要

１　開催日　令和８年１１月１０日（火）１９：００～２０：３０
２　開催方法　ＷＥＢ会議
３　議題　（１）第８次三重県医療計画及び第５期三重県がん対策推進計画の中間評価について
（２）がん診療連携拠点病院等、小児がん拠点病院等及びがんゲノム医療中核拠点病院等の整備に関する指針の改定について
（３）三重県がん診療連携準拠点病院及び三重県がん診療連携病院の指定要件の見直しについて
（４）三重県における放射線療法に係る検討体制について
４　議事概要　以下のとおり

（１）第８次三重県医療計画及び第５期三重県がん対策推進計画の中間評価について

※中間評価の方法及び中間評価報告書（中間案）について事務局から説明

○　在宅等の考え方について、循環器病対策の中間評価と取り扱いが異なるようだが、統一的な見解はあるか。

⇒　県としての統一的な見解はない。がんにおいては、計画策定時に在宅としての考え方を整理した。

○　年齢調整罹患率において、乳がんや大腸がんの罹患率が増加しているとのことだが、新型コロナウイルス等の影響もあるか。

⇒　直接的な影響まではつかめていないが、医療機関の受診控え等の影響はあると考えている。

（議題１について、委員全員が了承した。）

（２）がん診療連携拠点病院等、小児がん拠点病院等及びがんゲノム医療中核拠点病院等の整備に関する指針の改定について
（３）三重県がん診療連携準拠点病院及び三重県がん診療連携病院の指定要件の見直しについて

※国指定の拠点病院等に係る整備指針の改定及び県指定の準拠点病院等の指定要件の見直し案について事務局から説明

○　都道府県がん診療連携協議会に「患者団体等の関係団体の参画を含めた構成」とあるが、詳細に教えてほしい。

⇒　昨年度、国から「2040 年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に関する基本的な考え方及び検討の進め方について」の通知があり、均てん化・集約化を検討する協議会に患者団体等も参画することとされたため、今回の整備指針にも反映された。

○　2040 年を見据えるとがん罹患者数の減少が想定されるが、拠点病院・準拠点病院を 10 か所程度整備する考えは変わらないか。

⇒　今後の方向性については、地域医療構想やがん医療提供体制の均てん化・集約化の検討をふまえ、様々なご意見をいただきながら検討していく。

○　準拠点病院は本来どういった位置づけかをもう一度考えるべき。厚生労働省の整備指針改定において、三大療法以外の基準も大きく変わっている。これらについてどう評価し、どの役割を準拠点病院に求めるか再構築する必要がある。

⇒　ご指摘の通り、拠点病院・準拠点病院を 10 か所程度整備することを目ざしたころから状況は変わってきている。改めて、準拠点病院のあるべき姿や求める役割を均てん化・集約化の検討と合わせて検討していく。

（議題 3 について、委員全員が了承した。）

（４）三重県における放射線療法に係る検討体制について

※放射線療法に係る検討体制について事務局から説明

○　放射線治療に関する一番の問題はコストが非常に高いこと。各病院でも放射線治療に関して後ろ向きになる施設も増えるのではと心配している。集約化しづらい放射線治療もあるので、なるべく早く議論をはじめ、県としての方向性を見つけてほしいと期待している。

以上